

高校進学のおしらい



小田原市では生活保護を利用する子どもの高校進学を応援しています。
そこで、高校進学に関して、知っている役立つ情報をまとめました。

高校進学には多くの不安や疑問があると思います。

ぜひこのパンフレットを参考にして、
必要な制度を確認し、手続きを行いましょう！

小田原市福祉事務所
(小田原市役所 生活支援課 保護係)

☎0465-33-1463

Q1 高校受験する時に、必要なお金を用意するのに使える制度はありますか？

A. 受験料や入学料と活用できる制度は、次のとおりです。

公立高校

生活保護利用世帯は手続きをすると**全額免除**になります。



次の手続きを行って、必ず免除申請をしましょう！

ちなみに・・・受験料 2,200 円（全日制）＋入学金 5,650 円（全日制）

志望校に事前相談 ⇒ 書類をもらう ⇒ 書類の記入と準備 ⇒ 志望校に提出

☆締切日☆ 共通選抜（全日制・定時制）： 例年 1 月中旬頃
定通分割選抜（夜間の定時制）： 例年 2 月中旬頃

○申請に必要な書類は？→ 必要書類は 2 種類です。

授業料等免除（特収猶予）申請書 + 生活保護受給証明書（生活支援課発行）



○申請手続き後に、志望校が変わってしまった場合は？
→ 一度申請していれば、問題ありません。
事前相談先と実際の志願先が異なっても大丈夫です。

私立高校

費用の免除制度はありません。



補助金や**福祉資金**を活用しましょう！

ちなみに・・・入学時に必要な費用は各学校で異なります。

① 神奈川県私立高等学校等生徒学費補助金

→ 最大 10 万円の補助金が受けられます。（返済不要・入学初年度のみ対象）
※入学後（1 年次の 6 月頃）に申請手続きが必要です。
詳細は各学校にお問い合わせください。

② 母子父子寡婦福祉資金

→ 小田原市子育て政策課が窓口です。 TEL : 0465-33-1874
貸付金のため、返済と連帯保証人が必要です。

③ 神奈川県社会福祉協議会の生活福祉資金（教育支援資金）



→ 小田原市社会福祉協議会が窓口です。 TEL : 0465-35-4000
貸付金（一部利子あり）のため、返済と連帯保証人（原則）が必要です。

★上記の制度を活用しても費用を賄えない場合があるので、
事前に貯金しておくことをおすすめします！



Q2 高校授業料の支払いに使える制度はありますか？

A. 公立高校と私立高校で利用可能な補助制度が違います。下記を参考にしてください。

<p>公立 高校</p>	<p style="text-align: center;">高等学校等就学支援金制度を利用して 授業料の負担を無くしましょう！</p> <div style="display: flex; align-items: center;"><div style="margin-left: 20px;"><p>入学後に毎年高校から案内があります。高校の指定した期限に間に合うよう手続きをしましょう。</p></div></div> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"><tr><td colspan="2">参考ですが・・・県立高校の授業料</td></tr><tr><td>区分</td><td>授業料</td></tr><tr><td>全日制の課程</td><td>118,800 円／年</td></tr><tr><td>定時制の課程</td><td>32,400 円／年</td></tr><tr><td>通信制の課程</td><td>1 単位 350 円</td></tr><tr><td colspan="2">(平日登校履修の場合は 1 単位 700 円)</td></tr><tr><td colspan="2">※市立高校は各市の教育委員会に要確認</td></tr></table>	参考ですが・・・県立高校の授業料		区分	授業料	全日制の課程	118,800 円／年	定時制の課程	32,400 円／年	通信制の課程	1 単位 350 円	(平日登校履修の場合は 1 単位 700 円)		※市立高校は各市の教育委員会に要確認	
参考ですが・・・県立高校の授業料															
区分	授業料														
全日制の課程	118,800 円／年														
定時制の課程	32,400 円／年														
通信制の課程	1 単位 350 円														
(平日登校履修の場合は 1 単位 700 円)															
※市立高校は各市の教育委員会に要確認															
<p>私立 高校</p>	<p style="text-align: center;">返済不要な2つの制度を活用して 授業料の負担を減らしましょう！</p> <div style="display: flex; align-items: center;"><div style="margin-right: 20px;"><p>① 高等学校等就学支援金 (297,000 円／年)</p><p>② 神奈川県私立高等学校等生徒学費補助金 (135,000 円／年)</p></div><div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"><p>各種問い合わせは各高校へ！ 年度初めの申請が一般的です</p></div><div style="margin-left: 20px;"></div></div> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"><tr><td colspan="2">参考ですが・・・私立高校の授業料 (県内)</td></tr><tr><td colspan="2">平均約 432,000 円／年</td></tr><tr><td colspan="2">※詳細な授業料は各学校により異なります。</td></tr></table>	参考ですが・・・私立高校の授業料 (県内)		平均約 432,000 円／年		※詳細な授業料は各学校により異なります。									
参考ですが・・・私立高校の授業料 (県内)															
平均約 432,000 円／年															
※詳細な授業料は各学校により異なります。															

※ 私立高校 (専願・併願) を受験する人への大切なお知らせ

奨学金や貸付金は、1月中に申請書類を準備する必要があります。

書類の準備は福祉事務所がお手伝いするので、ご安心ください。

志望校が決まりましたら、必ず担当ケースワーカーに報告してください！




Q3 高校の課外活動や授業以外にかかる費用は補助してもらえますか？

A. 授業外の費用は、①生活保護費からの支給と、②神奈川県からの補助が活用できます。


生活保護費から支給可能

* 申請には領収証や請求書など実額が分かるものが必要です。

入学時(例)

- 
- 学生服、体操服、上履き、通学用かばん ・ ・ 上限金額 86,300 円以内で支給
 - 教科書、ワークブック、辞典などの教材 ・ ・ 必須科目のみ実額で支給
 - PTA 会費等の諸経費 ・ ・ ※担当ケースワーカーに要相談

在学時(例)

- 
- 通学定期代 (原則 6 月間) ・ ・ かかった実額 (最小限度内)
 - 授業必需品、遠足や社会見学費用等 ・ ・ 毎月の保護費に 5,200 円上乘せ
 - 部活動の費用 ・ ・ ※担当ケースワーカーに要相談

* 修学旅行費用や卒業アルバム購入費は生活保護費から支給できませんので注意が必要です。

神奈川県高校生等奨学給付金制度の活用

* 給付金のため、返済は不要です。

まずは知っておきたいこと

- 申請には **7月1日時点**の**生活保護受給証明書** (生活支援課で発行) が必要です。
- 申請後、支給を受けるまでには時間がかかるため、**早めに申請**をしましょう。
- PTA 会費等に未納がある場合は、未納額の清算に充てられるため、注意が必要です。



- 支給金額 ・ ・ 公立高校 : 32,300 円 (年額)
私立高校 : 52,600 円 (年額)
- 問い合わせ先 ・ ・ 進学 (在学) 先の高等学校
- 申し込み期間 (目安) ・ ・ 7月~12月頃ですが、
学校ごとに締め切りがあります。

* 制度を上手に活用して、学習費用の負担を減らしていきましょう！